

三中だより

令和7年度第9号

令和7年12月1日(月)

大田区立大森第三中学校

校長 笛木 啓介

大田区中央4-12-8

徒然草に、「手のわるき人の、はばかりず文書きちらすはよし。みぐるしとて、人に書かするはうるさし。」という一文があります。これは、「字が下手な人がそうしたことを気にせず手紙を書いたほうがよい。自分の字がみぐるしいと言って人に書かせるのはかえって嫌味でわずらわしい。」という意味です。ただ、これは自分の字の汚さの話ではなく、手紙での気持ちのやりとりについてまでのことを語っているとも考えられます。手紙を書いていると、相手に対してどう書いたらより分かりやすいだろうかと考えます。そして、何度も何度も書いてみて、だんだんと自分らしい言葉で気持ちを伝えることができてきます。それを代筆という人づてに頼んでしまえば、相手のことを思う自分自身の気持ちを伝えることはできません。そして、自分と相手との気持ちのやりとりの力も上達しません。代筆というと、今ではAIが担っているようです。伝えたい単語をいくつか入力すると、それらしく文章を作ってくれます。一見よくできた文章のようですが、読むと、違和感を感じることが多々あります。徒然草の書かれた鎌倉時代も、代筆された手紙を見て、きっと違和感を感じていたのではないのでしょうか。800年の時を超えても、相手に気持ちを伝えることの大切さは変わりません。

文章を書くということは、自分の中でいくつものプロセスを経ていきます。何を書くのか考えて、それをまとめ、相手にどのように伝わるのか

を想像して書いていきます。まず自分の中で何を伝えたいのかとの自分との対話があり、どうしたら本意が伝わるのかと、表現を工夫します。「書は言を尽くさず、言は意を尽くさず」と言われるように、書いても書いても自分の気持ちが伝わらないこともあります。それでも、書くことで自分の気持ちを整理でき、自分自身を客観的に見つめなおすことにもつながります。

さて、授業でも、作文を書いたり、レポートを書いたり、生徒たちはさまざまに書く作業に取り組んでいます。「どうしてこう思うのか、意見をノートにまとめなさい」や「タブレットで実験結果をもとに考察を打って送ってください」など、たくさんの発信が求められます。そのたびに、頭の中では、「何がわかっていてこうなったから、こう思う」という思考回路が働き、その過程を通して自分自身の考えが改善されて、自分自身の成長につながっているのです。

いよいよ学期末です。今学期を振り返り、どんなことに取り組んだのか、そして何ができるようになったのかをまとめます。この過程で、ぜひ自分の足跡を振り返ってほしいと思います。それは、自分自身がどれだけのよう成長したのかを、把握することになるからです。これだけのことができるようになったんだという実感は、自分のこれからを進める上での大きな力となってくれるはずです。

スクールカウンセラー 出勤予定日

※大森三中 相談室直通電話
(3773) 7831

	12/1(月)、12/8(月)、12/15(金)、12/22(金)
	12/2(火)、12/9(火)、12/16(火)、12/23(水)
	12/3(水)、12/10(木)、12/17(水)、 12/24(水)

12月の行事予定

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月
		学校閉鎖期間(1月3日迄)			冬季休業日 始 融雪剤散布	終業式 大田区中学校意見交換会 於食堂	②カット 大掃除⑤ ジャージ登校							地域連携支援委員会		生徒会朝礼	東京都スピーキングテスト(2月17日)(3)予備日		⑤⑥ 職業人講話(1) 職場体験報告会(2)	中央委員会 16:00～	安全指導 ③④カット給食有 全校三者面談(終) 専門委員会 15:00～	⑤⑥カット給食有 全校三者面談			④⑤カット給食有 全校三者面談	⑤⑥カット給食有 全校三者面談	③カット給食有 全校三者面談(始)	⑤カット給食有	3年生のみ⑤⑥カット給食は有	

2年生は、10月1日(水)から3日間の職場体験を行いました。この行事は、働くことの大切さや地域の一員としての自覚、そして自分たちの将来のことについて考える契機となるものです。今後、12月12日(金)には職場体験報告会を行うため、職場体験のまとめに取り組んでいる生徒たちの中から、体験の振り返りを紹介します。

飲食業体験 2年

僕は正直、体験に関しては思っていた5倍は大変でした。しかし、今回大きく気づいたことがあります。それは「大変さとやりがいとは比例する」ということです。仕事をがんばれば、褒めてもらえたり、もっといろいろな仕事をまかされたりとうれしいことがたくさんあって、そのたびに「頑張ってたかったな」と思えたからです。

保育園体験 2年

職場体験を終えて、保育士(0歳児)の人たちは、言葉もあまりしゃべれない子たちでも、読み聞かせをしたり、体操をしたりしていて、理解できているのかな、と思っていましたが、絵本で、倒れてしまう場面がでてくるとみんな内容を理解していて倒れてしまうので、0歳の子でも内容が伝わっているんだとわかり、とてもビックリしました。それに保育士は子どもの笑顔がみられ、笑わせることができると自分がとてもうれしい気持ちになりました。それでも、5分に1回は息をしているかチェックや毎日の記録を書いたり掃除をしたりと、遊ぶだけでなく大変なことがたくさんあることがわかり、どの仕事も楽しいだけではなくて、大変でつらいこともあるんだということがわかりました。

製造業体験 2年

仕事は責任をもってしっかりとこなさなければいけないが、クレームを受けないようにしっかり設定や検査ができなければならない大変さを3日間でよくわかった。それでもしっかりできたときの喜びがたくさんあり、楽しく充実した仕事もたくさんありました。働いてみて、自分の身近な仕事に責任をもってしっかりとできるようになってから、今度は進路のこともしっかりと決めていきたいと思いました。

博物館体験 2年

学芸員という職業は、専門知識だけでなく、相手に分かりやすく伝える力が必要だと分かった。龍子公園を紹介してもらったとき、話がよくわかり耳に入ってきたことを覚えている。私も学芸員さんのように、要点をまとめた話ができるようになりたい。職場体験では、龍子について調査したことをプレゼンする機会があった。自分なりに一生懸命つくったプレゼンをすることができ、楽しかった。私は調べたことを発表することが好きなため、学芸員という仕事に興味をもった。働くことは大変だが、自分の知識が活かせることはいいなと思った。

精肉販売業体験 2年

今回、初めて職場体験をしてみて、同じ作業を繰り返す仕事でも、集中力がとても必要な大変な仕事なんだとわかりました。私の行ったお肉屋さんでは、接客の場もあったので、お客様から直接に「ありがとう」と感謝されたときは、とても嬉しく、頑張ったかいがあったなと、充実感や達成感を味わうことができました。今回の貴重な体験から、「働くこと」への理解を深め、自分の特性や興味と結び付けて、具体的な進路選択につなげていきたいです。

幼稚園体験 2年

「働く」ということの大変さにあらためて気がついた。今回の職場体験では、先生方からだけではなく、子どもたちからもらう気づきもたくさんあって、びっくりした。3日間の体験を通して、子どもたちと仲良くなっていくことがとても楽しかったし、「教えること」の楽しさを知ることができたし、これからも知っていきたいと思った。

福祉施設体験 2年

今回の職場体験はとても楽しかったです。初日は不安と緊張で頭がいっぱいで、慣れない環境なものもあって、とても疲れて、楽しむ余裕はありませんでしたし、利用者さんともあいさつづらいでしか関われませんでした。しかし、3日目は行く前にあんなに「どうやってかわろう、どうしよう」と思っていたのが、「話しかけて会話したい!」となっていた自分がいました。実際4人とか5人とかの人と話せて、一緒に仕事もしました。福祉の仕事は興味がなかったけれども、今回の体験で「こういう仕事もいいな」と感じることもできた3日間になりました。

福祉施設体験 2年

思っていることを上手に言葉にできなかったり、うまく体を動かすことができなかったりと、たくさんの特徴をもった利用者さんがいたので、そういった人とのどのようにコミュニケーションをとるのが、難しかったです。それでも話しかけたりすると笑顔を見せてくれた方がいたのはとても嬉しかったです。大変な仕事もある中で、最後までやり抜くことが大切なのだとわかりました。

